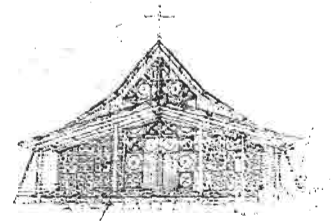


いぶき



【第16号】

2005年12月18日発行

発行：日本聖公会北海道教区 札幌聖ミカエル教会
司祭 アキラ 上平 仁志 いぶき編集委員会
〒065-0019 札幌市東区北19条東3丁目 Tel 011-721-2446

我が魂は主を待ち望む

(詩篇130・6節)

司祭 アキラ 上平 仁志

ところで《魂》と言えば、現代人は「魂を捨て子にした」と言う記事を以前説教の中で紹介しました。それは中南米の奥地の発掘調査に雇われた地元原住民の荷物運搬人（シェルパー）の話です。彼らは欧米人たちの研究チームと共に奥地に向かって歩き始めました。しかし五合目になって、彼らは急に歩くことをぶつりと止めてしまい、黙って全員輪になり地べたに座り込んで動かさずじまいでした。困り果てた調査団は、賃金アップの交渉をしましたが、彼らは聞く耳を持ちません。叱り付けても武器で脅しても、彼らは無言で車座に座ったまま荷物を担ごうとしませんでした。

さすがに金と知性を武器にした偉い先生たちも、これにはお手上げ状態で遂に説得を諦めました。日程も大幅に遅れましたが、こればかりは待つしか方法はありません。しかし、それから2日後の事、シェルパーたちは突然立ち上がり、そして「先生方が初めにあまりにも早く歩きすぎたので、わたしの《魂》が追いついて来るのを待っていませんでした」と答えたそうです。この出来事を紹介したミヒヤエル・エンデは「私達は外的な時間は滞りなくこなしているが、内的な時間、《魂の時間》に対する繊細な感情を、とっくの昔に捨て子にするか殺してしまいました。そのため肉体は病み、病院は魂の抜け殻のような病人で溢れています」とコメントしています。この出来事は、単に調査隊の時間云々ではなく、それまでの人生の生き方自体が問い直される事柄でした。

今年もわたしたちの身の回りで、世界で様々な悲惨な出来事や事件がありました。具体的には申しませんが、特に弱い者への虐待、殺人行為、また子供たちの不登校や引きこもり、しつけに対する逆恨みの事件など、いずれも単に気が弱いとか、本人の性格だとか、怠け心とか、親のしつけの問題以上に根の深い《人間の魂》に関わる問題ではないでしょうか。効率優先主義の、速く前に進むことに価値を置く学校システム、社会構造の根底にある問題に気付かねばなりません。今わたしたちに求められている事は、個人的にもあるいは集団にしても、置き去りにした魂を待つ事ではないでしょうか。

クリスマスは、「神の訪問」です。この暗い闇の世に光として来て下さった神の御子を心にお迎えする時です。福音書によれば、その時「宿屋には彼らの泊まる場所がなかった」（ルカ2:7）とありますが、わたしたちの心も様々な悩みや心配事で、イエス様をお迎えする余地がないかも知れません。しかし、今クリスマスの静けさの中で、じっくりと自分を見つめ直す時、ぽっかり空いた虚しさがある事も事実であります。それは、真実に《光り輝く魂》の持ち主、真の神であられ、真の人であられる神の御子に宿って頂くまで、決して満たされる事のない虚無ではないでしょうか。

(櫻井淳司著『ニューライフ通信』参照)



木村夕子司祭に 期待する



▲初ミサの木村夕子司祭(11月24日)

明るさ、温かさ、優しさを持ち続けて

司祭按手おめでとうございます。按手式では大勢の教区の司祭に囲まれ、小柄な夕子先生は会衆席からは見えませんでした。あの時はどんな心境だったのでしょうか、喜び、緊張の中にもこれから進むべき道の夢がいっぱいだったのでしょうか。先生の持っておられる明るさ、温かさ、優しさを持ち続けて下さい。幼児から高齢者まで、先生が耳を傾け言葉をかけて下さる事を待ち、癒される事を願っているのです。

エリサベツ 鈴木 洋子(教区婦人会長)

頼もしくなられた夕子先生

夕子先生司祭按手おめでとうございます。聖職候補生として、ミカエル教会に赴任された。初々しい姿を思い出しております。ミカエル教会の荒波にもまれ 頼もしくたくましくなられたように思われます。これからもどこへ行かれようと、いつまでもミカエルの皆が夕子先生のサポーターです。主とともにありますように、いつもお祈りしています。

モニカ 神林 直子(婦人会長)

子ども達は先生が大好き

昨年4月より聖ミカエル幼稚園のチャプレン補としてお働きくださっている木村夕子先生。毎朝、幼稚園の玄関前で子ども達に「おはよう！」と元気に声をかけてくださったり、月曜日の礼拝も毎週一緒に守ってくださっています。やさしい夕子先生を子ども達は大好きですし、私達職員も先生のほのぼのとした雰囲気にもいつも巻き込まれてしまう感じです。とにかく若い先生がいよいよ司祭として動き始めることは本当にうれしいことです。許されるならもうしばらくの間、ミカエルにいてくだされば・・・と思っておりますが今後に期待しております。

ルシア 山崎 恒子(聖ミカエル幼稚園園長)

満面のスマイルを忘れずに

按手式は嬉しさで一杯でしたが司祭として初ミサを捧げていらっしゃる姿に涙が溢れました。日曜学校の子供達に私達にたくさんの愛を持って接して下さいました。子供の賛美に「スマイル」という曲があります。夕子先生の満面のスマイルが皆大好きです。どこからか「スマイル、スマイル！」と神様の声が聞こえて来る事でしょう。心にゆとりが無い時もあるでしょう。どうぞ神様のその声を聞いて下さい。神様としっかり繋がって下さい。私達は聖職者にしっかりと繋がっていただき信仰生活を送りたいと思います。

グレース 吉井 頼子(日曜学校教師)

夢を叶えた夕子先生、すごいな

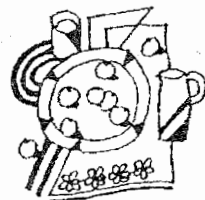
木村夕子先生、おめでとうございます。司祭になるまでとても大変だったと思います。私は自分の夢を叶えるのは、たくさんの努力が必要だと思っています。でも木村夕子先生は自分の夢を叶えていて、「すごいな。」と思います。これからも司祭の仕事がんばってください。そして、いつまでも私達、ミカエル聖歌隊は木村夕子先生のことをずっと、ずっと応援しています。

横山 葵(日曜学校生徒・小学6年生)

楽しい寮生活

—入寮の感想—

趙麗明



平和のためのハウス、あなたは聞いたことがありますか？それとも入寮体験がありますか？その感想をみんなと楽しもう。

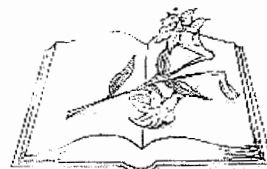
わたしは幸いにも2週間前に入寮させていただき、「平和ハウス」をよく体験しています、体験というより楽しんでいっていると言ったほうがもっと現実に合うでしょう。世界人の集まった場所で異なった民族の生活習慣が見られるのが最初の感じで、それから来るのは寮生たちの頑張っている姿です。例えば韓国人のチャンさんでゴミ経済をやって中国にも触れているようですが、でも中国語がよく出来なくて困っているし、本国語の資料もいろいろもらって喜んでいるし、それも連続に昼夜を通して成果が見られるようになったら興奮している姿はよく見られます。その他、話さなきゃならないことは寮母さんが造ってくれた料理です。朝、私たちは台所に行くと名札を付けた美味しい料理が並んでいて寮母さんが朝5時ごろに起きて用意して置きました様子はよく見えます。食べてみれば：あ～、美味しい～…。

(国際青年寮生、内モンゴル出身の
中国国籍留学生)

ミカエルの皆さんに

—司祭叙任をうけて—

司祭 ヘレン 木村 タ子



本当にたくさんの方々から、喜びの言葉をかけていただきました。これまでの人生の中で、最も盛大に祝っていただいた出来事となったのは間違いありません。聖ミカエル教会および婦人会より、貴重なお祝いをいただきましたことを、この場をお借りして皆様へ感謝申し上げます。また、礼拝で奉仕して下さったことも聖歌隊の歌声は、聖餐を運ぶ手足を清らかなリズムで支えてくれました。そして、幼稚園のお母様方からもお祝いの言葉をかけていただきまして、ありがとうございました。余りにも盛大な祝いの時でありましたし、皆さんの喜んでおられる姿を拝見していて、身に余る光栄とはこのことだと思っておりました。按手の翌日に行われた初ミサでも大勢の方々と共に祝うことが出来ましたし、聖餐式の後には心のこもった祝会を開いていただき、嬉しい限りでした。

これからは、聖餐式や洗礼式等の新たに担う勤めを担って行くことになりました。いつもイエス様の恵を見出し、感謝し、救いの光を指し示す者になりたいと思っています。今はまだ馴染んでいない新しい靴を履いてぎこちなく歩いているような状態ですが、与えられた勤めを果たす事に忠実でありたいと思います。これからもお祈りのうちに覚えていただければと願っております。

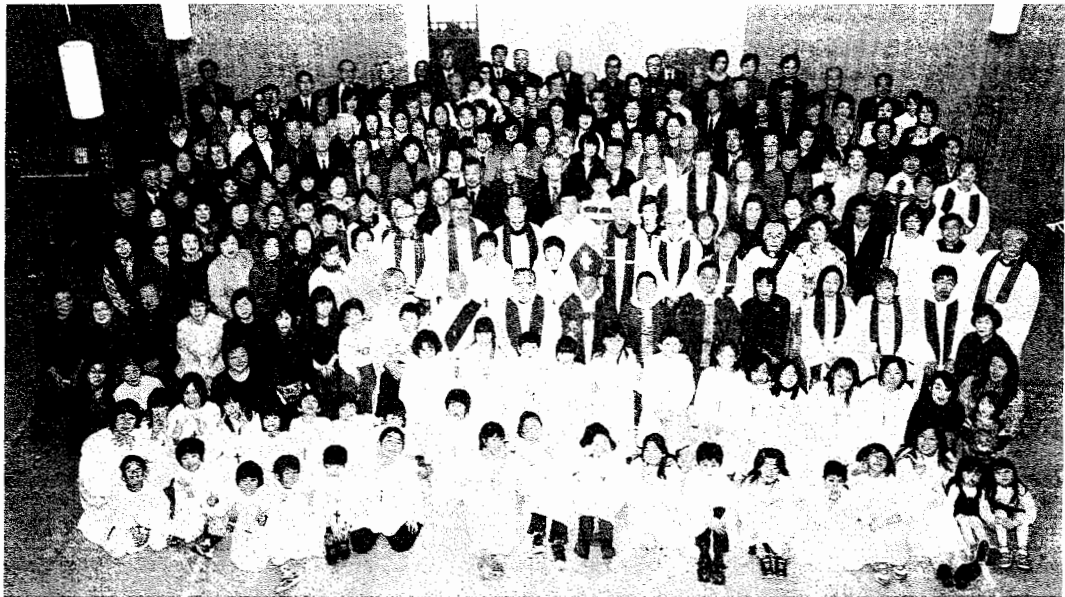


◀ 按手式後、植松主教や他の聖職者との記念撮影

素敵な歌声を プレゼント

～木村夕子先生司祭挨拶～

11月23日(水)、晴天の中、札幌キリスト教会にて木村夕子先生の司祭挨拶式が行われました。日曜学校の子ども達も聖歌隊として一緒に礼拝へ参加しました。今回は、歌を練習する時間が少なかったのですが、子ども達一人一人が夕子先生に素敵な歌声をプレゼントしたいと思い、聖歌隊のみんなは一生懸命練習してきました。そのみんなの思いが届き、いつもより少し長い礼拝だったのですが、夕子先生はもちろん、礼拝に参加していただきみんなに素敵な歌声をプレゼントすることができました。



▲木村夕子先生と一緒に記念撮影をした聖歌隊の子ども達

使用済み切手で できること

日曜学校では、数年前から使用済み切手を集めています。これは、JOCS（日本キリスト教海外医療協力会）の活動の一つで、各家庭に送られてくる郵便にある消印の付いた切手を集め、それをJOCSに送ることによって、その収益が、アジアをはじめ、保健医療が十分でない地域への医師・保健師・看護師などの保健医療従事者を派遣するための活動に役立てられています。切手の集め方は簡単にできます。使用済みの切手の周囲を5mm～1cm残し、切り取って下さい。枚数を数えたり、金額別に分けたりする必要はありません。皆さんの1日の少しの時間を使用済み切手を切る時間にすることによって、アジア・アフリカの人達の健康を守る大事な活動の助けになります。現在も日曜学校の子ども達はそのことを思い、少しずつですが、使用済み切手を集めています。



迫力の踊りに 会場も興奮 ～幼稚園 発表会～



今年も、幼稚園発表会が11月3日（木）に行われました。当日は肌寒い気温の中、朝早くから父母の皆さんが並び、たくさんの方々が幼稚園に来て下さいました。園児達は、発表会に向け毎日たくさんの練習を重ねて来ました。練習ではなかなか上手くできないところもありましたが、本番ではみんな一生懸命に演じることができました。中でも年長組のみんなが踊ったお遊戯が迫力があり会場に来ていた人達もとても興奮していました。幕が開くと、ピンクと青色の



チアリーダーに扮した女の子達が現れると会場から「かわいい～」という声が上がリ、踊りが始まると、大人顔負けのすばらしい踊りが披露されました。次に、黒のタキシードの衣装を付けた男の子達が登場し、紳士的(?)な姿に会場からたくさんの手拍子があがりました。踊りの最後は、女の子もステージと一緒に上がり、39名の園児達が所狭しと言う感じで踊っていました。子ども達のかわいらしい姿に会場へ来ていた家族の人達はとても満足そうな様子でした。



感謝のことば

—アフリカ中古衣料送り先から—

敬愛する兄弟姉妹の皆様

この度の機会を通して、父と子と聖霊のみ名においてご挨拶申し上げます。

ガボンゲ教区を代表して、無事に受け取りましたことを、心から感謝申し上げます。

すでに受け取りました衣類は、似合った者たちに分け与え、彼らも新しい衣服を着て大変、喜んでいきます。 ➤

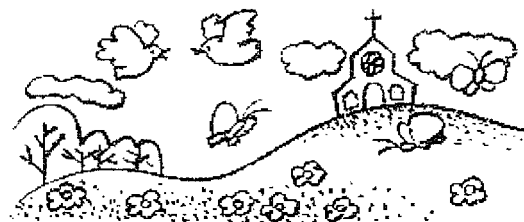
衣類や靴類、毛布など、さらに必要としておりますので、今後とも、よろしくお願い申し上げます。

皆様の上に神様の祝福が豊かにありますように。

2005年10月4日

東アフリカ ウガンダ ガボンゲ教区
牧師 マリア・ローザ

(これは今秋、送り先から着信した4通の感謝状からのもの。ウガンダ共和国は人口2162万 1人あたり国民所得320ドル(1999年)。この年の日本の人口1億2665万 1人あたり国民所得32030ドル(ウガンダの約百倍)



教会対抗ソフトボール大会 に参加して

去る10月23日、豊平区の吉田川公園球場で、青年会主催の三教会対抗ソフトボール大会が盛大に開催されました。マーガレット教会、ミカエル教会、そして札幌キリスト教会それぞれのメンバーがチームを結成し、総当り戦をおこないました。三教会以外からも参加者がきてくださり、文字通りかつてないほどの“大会”だったと思います。



▲参加者全員で記念撮影

ミカエルチームは当日日曜学校の鈴木先生の婚約式に参加したため、約一時間遅れての参加となりましたが、ミカエル寮の留学生、日曜学校の先生、そして日曜学校の子供たちも含めて最多人数のチームとなりました。和気あいあいとしつつも白熱した対抗戦になりましたが、ミカエル教会チームが、貫禄を見せ付けての優勝でした！今回の大会は、一人の青年会メンバーの「各教会で対抗戦したら交流にもなるし、面白いよね」という一言から企画されました。今後も、このような一人一人のアイデアを大事に、教会同士で交流の機会を設けていければと思います。最後に、今回の大会を企画するにあたり、道具の手配や賞品の準備、車の調達、そして懇親会など、本当に多くの方々にお世話になりました。このような恵みある機会を与えてくださった神様に感謝します。

礼拝・行事予定

1月～3月

- | | | |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 1月 1日(日) 主イエス命名日、元旦日 聖餐式 ・ 3日(火) 柳沢慎太郎・工藤朋子婚約式 ・ 6日(金) 顕現日 ・ 8日(日) 顕現後第1主日 主イエス洗礼日 教会委員会 ・ 11日(水) 教役者レクイエム ・ 13日(金) 婦人会総会、新年会・GFS 新年会～札幌キリスト教会 ・ 17日(火) 聖書を学ぶ会 ・ 18日(水) 市内教役者会、新年会 ・ 19日(木) 聖ミカエル幼稚園 3学期始業式 ・ 20日(金) 聖ミカエル幼稚園 おもちつき ・ 22日(日) 顕現後第3主日 信徒総会 ・ 2月 2日(木) 被薙日 ・ 3日(金) 聖ミカエル幼稚園 節分 ・ 5日(日) 顕現後第5主日 教会委員会 ・ 8日(水) 教役者レクイエム | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2月11日(火) 聖ミカエル幼稚園 ミカエル仲よしデー ・ 14日(火) 聖ミカエル幼稚園 一日入園 ・ 21日(火) 聖書を学ぶ会 ・ 22日(水)～23日(木) 園長チャプレン会議 ・ 26日(日) 大斎節前主日 ・ 27日(月) 神愛園喫茶「そらのとり」 ・ 3月 1日(水) 大斎節日 灰の水曜日 ・ 3日(金) 聖ミカエル幼稚園 おひなまつり ・ 5日(日) 大斎節第1主日 教会委員会 ・ 8日(水) 聖ミカエル幼稚園 お別れ会・教役者レクイエム ・ 13日(月) 聖ミカエル幼稚園 卒園進級礼拝 ・ 18日(土) 聖ミカエル幼稚園 卒園式、修了式 ・ 19日(日) 神学生、聖職候補生を囲む会 ・ 21日(火) 聖書を学ぶ会 |
|---|--|--|

編集後記

アフリカ中古衣料活動13万 インドネシアサッカーボール活動5万 パキスタン大震災支援、米国ハリケーン復興支援、パレスチナ支援各4万 聖ミカエル国際青年寮2万 ミカエル資金へ残金(23万)計55万円 本年9月25日開催のミカエルバザーの純益金55万円の使途内訳です。読者各位の多大のご理解・ご協力を頂いて今年のバザーも盛会の中に終了しました。ありがとうございました。(N)

編集委員 中村陽三(長) 関道子 小澤暢子 佐藤忠志